



港区新橋5-15-5
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 菊池忠志

編集責任者 樋口孝重

2016年
11月8日
NO. 77

ダイジェスト版

つなげよう

(わざ) (ところ)
技術と魂と

運動を

HP <http://www.e-nru.com/>

年末手当 第2回交渉 11月8日

会社より現状認識が示される

組合 会社の経営体質からすれば支払いは可能。
安全のための設備投資も必要だが、社員にも還元すべきである!

昨年の北陸新幹線や上野・東京ラインの開業のような **会社**
追い風がない中でも収益を確保していただいた事には感謝をする。

< 年末手当における会社の基本的なスタンス >

年末手当の議論にあたっては、大局的な経営の観点から業績動向を踏まえつつ、コスト構造の変化や平成24年度に実施した人事・賃金制度、3年連続で実施している賃金改善が人件費に与える影響、そして当社が高い公共性を有した企業であることも考慮して世間に突出感を与えることがないということにも留意しながら、総合的に勘案して判断すべきである。

< 組合側 >

- 個人消費が景気の底上げをしている。家計の懐を温めることが必要である。
- どの系統でも技術継承が求められている。また、相次ぐ輸送障害で疲弊する社員に対して、どのように報いるかが大切。今こそ人件費に投資をするべきである。
- 昨年度実績を下回る経営状況ではない。仕事に対するモチベーションをいかに高めるかが大切である。
- スケジュール感を持って回答することを求める。

<会社> 基本的なスタンスに基づきスケジュール感を持ちつつ
真摯かつ精力的に議論を進めていきたい!